



トータルブレイン
久光龍彦氏の
首都圏マンション市場

48

2011年もあと数日を残すのみとなった。ことしは3月の東日本大震災とその後続く原発問題、タイの洪水、そしてユーロ危機と1年を通じて災害や事故が連続する非常に厳しい年だった。中でも震災はマンション市場に大きな影響を与えた。震災以降工ンドユザーの住宅を求めるものが大きく変化した。震災前は立地の利便性・広さ・間取り・グレード感だったが、震災後は立地と建物の安全性、省エネ性、震災時対策といった安心・安全に変わった。また、湾岸部は液状化や津波に対する懸念によって敬

オーシャンレジデンス辻堂海浜公園

積和不動産・東京建物・陽栄

好調要因

津波懸念に勝る好立地・割安感

海岸1丁目の立地、南側に辻堂海浜公園が広がり、その先には辻堂海水浴場・湘南海岸が広がるという海至近の非常に希少な立地、最上階からは海の眺めも期待できる。

海浜公園が広がり、その先には辻堂海水浴場・湘南海岸が広がるという海至近の非常に希少な立地、最上階からは海の眺めも期待できる。

津波懸念は少なかつた。6月、震災からわずか3カ月後の時期である。しかしながら、津波懸念などは物ともせず販売は好調、5カ月後の11月には16戸を完売した。では、なぜこんなに売れたのか。

津波懸念は少なかつた。6月、震災からわずか3カ月後の時期である。しかしながら、津波懸念などは物ともせず販売は好調、5カ月後の11月には16戸を完売した。では、なぜこんなに売れたのか。

遠される傾向が強く、湾岸から内陸へ人気エリアが移ったといった報道も目に付いた。そこで当計画だが、辻堂西

真を返すと前述の震災で目撃し、津波の心配を除けば立地評価は抜群だったと判断される。

津波による浸水の対象エリアはなかつた。さらに来場者3・6万円、当立地の本来の対する対応・対策は絶対になるもの間題だ。今回、この物件が絶対で売れたことは、エン

津波による浸水の対象エリアはなかつた。さらに来場者3・6万円、当立地の本来の対する対応・対策は絶対になるもの間題だ。今回、この物件が絶対で売れたことは、エン

津波による浸水の対象エリアはなかつた。さらに来場者3・6万円、当立地の本来の対する対応・対策は絶対になるもの間題だ。今回、この物件が絶対で売れたことは、エン

津波による浸水の対象エリアはなかつた。さらに来場者3・6万円、当立地の本来の対する対応・対策は絶対になるもの間題だ。今回、この物件が絶対で売れたことは、エン

津波による浸水の対象エリアはなかつた。さらに来場者3・6万円、当立地の本来の対する対応・対策は絶対になるもの間題だ。今回、この物件が絶対で売れたことは、エン

社長